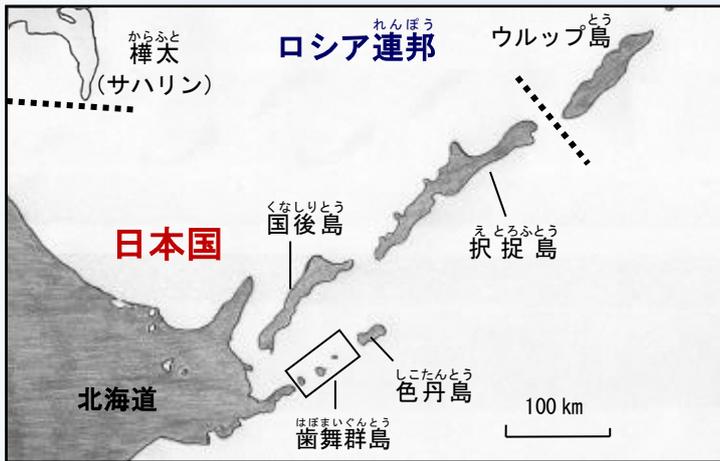


【領土とは】 地図を見ると、海上に日本と外国の国境線が引かれており、日本の領域りょういきが示されています。領域とは、主権（他の国から支配かんしやうや干渉かんしやうされない独立の権利）の及び範囲であり、陸地を領土、その周辺海域かんちやう（干潮時の海岸線から12海里かいり[約22.2km]）を領海、それらの上空を領空と言います。

北方領土

◎北海道根室振興局
北緯 43度21分～45度33分
東経 145度24分～148度54分



国後島の羅臼山

北方領土に関する
日本政府の基本的立場

北方領土は、ロシアによる不法占拠せんきよが続いていますが、日本固有の領土であり、政府は、北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結ていけつするという基本的方針に基づいて、ロシア政府との間で強い意思をもって交渉を行っています。

北方領土問題の解決に当たって、我が国としては、北方領土に現在居住しているロシア人住民については、その人権、利益及び希望は、北方領土返還後も十分尊重していくこととしています。

教科書に、「北方領土は日本固有の領土です」とありますが、北方領土の歴史について、くわしく教えてください。

※「小学社会 5上」（教育出版）12ページ、
中学校社会「新しいみんなの公民」（育鷗社）176ページ



それはねっ！ 江戸時代の寛永12年（1635年）、松前藩（現在の北海道松前郡松前町に居所を置いた藩）は、千島や樺太を含む蝦夷地方の調査を行いました。この調査の後、江戸幕府が作成した日本総図には、「くなしり、えとほろ、うるふ」などの島名が、はっきり記載されています。

明和3年（1766年）以降、ロシア人が千島に進出し、住民との衝突が繰り返されたため、幕府は、千島や樺太を含む蝦夷地を直轄地（直接管理する土地）とし、寛政10年（1798年）、幕府の巡察隊の一人であった近藤重蔵氏らが、択捉島に「大日本 恵登呂府」の標柱を建てました。その後、近藤氏らは、択捉島に郷村制を働き、17か所の漁場を開くとともに、幕府の役人が常駐することとなりました。

また、航路や港の整備などにより、色丹島、国後島、択捉島の本格的な開発が始められました。



そうだったんだ

北方領土には、ずいぶん長い歴史があるんですね。



調べてみると・・・

もっと知りたいな

それぞれの島では、どういう生活をしていたのでしょうか。



第二次世界大戦の終戦当時、北方四島には、約1万7千人の日本人が住んでいたのです



安政元年（1855年）、「日露通好条約」により、日本とロシアの両国の国境が、択捉島とウルップ島の間定められるとともに、樺太は、両国民と一緒に住む土地としました。

その後、明治8年（1875年）、「樺太・千島交換条約」により、日本は、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。さらに、明治38年（1905年）、「ポーツマス条約」により、南樺太が日本領となりました。

昭和20年（1945年）、日本は「ポツダム宣言」を受諾し、無条件降伏しましたが、その後、ソ連軍は、北方領土をすべて占領しました。

ソ連は、昭和21年（1946年）に、北方四島を自国領に編入し、島で生活していた人々は、昭和24年（1949年）までに、強制的に日本本土に引き揚げさせられました。

昭和26年（1951年）に、「サンフランシスコ平和条約」が結ばれ、日本は、千島列島と南樺太を放棄しましたが、日本が放棄した千島列島とは、ウルップ島より北の島々のことで、北方四島は、その中に含まれていません。



北方領土は、一度も外国の領土になったことがないのですね！

戦前の北方領土の暮らし



2

寛政10年（1798年）に
択捉島に建てられた「大日本国全島西口」の標柱



3

択捉島 紗那市街地



4

国後島 山林軌道



5

色丹島 運動会



6

歯舞群島 勇留島 神社祭



常に日本の領土であった北方四島では、住民のほとんどが、小規模な漁業を営んでおり、その頃の住宅は、ほとんど木造平屋造りで、小さなものでした。

学校や倉庫などを会場にした巡回映画や学芸会・運動会などのほか、年に一度のお祭りが、村をあげて、にぎやかに行われていました。

元の住民にとっては、大切なふるさとですね！



正保元年（1644年）に幕府が作成した地図には、「くなしり、えとほろ」などの島名が記載されています。

天明5年（1785年）と寛政3年（1791年）に、最上徳内氏は、国後島、択捉島に渡り、諸島の情勢を調査しました。

寛政10年（1798年）、近藤重蔵氏は、最上徳内氏らと共に、択捉島に「大日本惠登呂府」と書いた標柱を建てました。

安政元年（1855年）の日魯通好条約では、樺太は今までどおり国境を決めず、両国民の混住の地と定められました。

明治8年（1875年）の樺太・千島交換条約では、譲り受ける千島列島として、シュムシュ島からウルップ島までの18の島の名前をあげています。

昭和20年（1945年）の終戦当時、北方四島には約1万7千人の日本人が住んでいましたが、ソ連軍の占領により、約半数は自ら脱出しました。

昭和26年（1951年）のサンフランシスコ平和条約により放棄した千島列島に、日本の固有の領土である北方四島は含まれていません。この条約の署名をソ連が拒否したため、日本は、ソ連との間で個別に平和条約を結ぶ交渉を始めました。

北方領土に関する主なできごと ①

寛永12 (1635) 年	松前藩が北海道全島、千島、樺太を含む蝦夷地方を調査
正保 元 (1644) 年	江戸幕府が「正保御国絵図」を作成
明和 3 (1766) 年	ロシア人が初めてウルップ島に長期滞在 住民の反抗により、翌年帰国
天明 5 (1785) 年 寛政 3 (1791) 年	幕府が、最上徳内氏らを調査に派遣
寛政10 (1798) 年	幕府が千島、樺太を含む蝦夷地を直轄地とし、大規模な巡察隊を派遣
寛政11 (1799) 年 から 寛政12 (1800) 年	近藤重蔵氏、高田屋嘉兵衛氏ら、択捉島に郷村制を施き、17 か所の漁場を開くとともに、役人が常駐
安政 元 (1855) 年 2月7日	日魯通好条約により、両国の国境が、択捉島とウルップ島の間に決定する（昭和56年に、政府は閣議で、この日を「北方領土の日」に決定）
明治 8 (1875) 年	樺太・千島交換条約により、日本は、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太を放棄する
明治38 (1905) 年	日露戦争の結果、ポーツマス条約により、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となる
昭和20 (1945) 年 8月9日	ソ連は、日ソ中立条約を無視して、対日参戦
8月14日 8月28日~9月5日	日本がポツダム宣言を受諾し、降伏 ソ連軍が北方四島のすべてを占領
昭和22 (1947) 年 から 昭和23 (1948) 年	日本人は、ロシアにより北方四島から強制退去
昭和26 (1951) 年	サンフランシスコ平和条約により日本は千島列島と南樺太を放棄

歴史的に見ても、千島列島に北方四島は含まれていませんでした

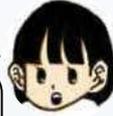
第二款
全ロシアの皇帝陛下は、第一款に書かれた樺太島の権利を受ける代わりに、子孫の代まで、現在の領土であるクリル群島、すなわち、①シュムシュ島、②アライド島、③ハラムシル島、④マカシル島、⑤ラ子コタン島、⑥ハリムコタン島、⑦エカルマ島、⑧シャエスコタン島、⑨ムシル島、⑩ライコケ島、⑪マツア島、⑫ラスツア島、⑬スレドネフ島とウシル島、⑭ケトイ島、⑮シムシル島、⑯プロトシ島、⑰チエルポイ島とブラツト、チエルボラ島、⑱ウルップ島の計十八島の権利などを、大日本国皇帝陛下に譲り、ラパッカ岬とシュムシュ島の間海峡を、両国の国境とする。

（编者により、現代の表現に改めるとともに、文の一部省略した）



明治8年（1875）年に、日ロ両国により結ばれた「樺太・千島交換条約」には、千島列島（ロシア名はクリル群島）の島名（18島）を一つ一つあげていますが、このなかに、択捉島以南の北方四島は含まれていません。（□囲み编者）

これからどうなるの？



これまで、何回も両国で合意されていながら、領土問題がなかなか解決しないようですが・・・。

平成4年（1992年）から、相互理解を深めることを目的に、北方四島交流（ビザなし交流）が開始されました。日本からは、元島民などが、四島を訪問しています。

東京宣言

東京宣言には細川総理大臣（当時）とエリツィン大統領（当時）が署名しました。北方領土問題については次の二点が示されています。

- ① 北方四島の島名を挙げて、領土問題がその帰属に関する問題であると位置付けたこと
- ② 歴史的・法的事実、両国の合意の上で作成された様々な文書、法と正義の原則を基礎に、領土問題を解決するとの明確な交渉指針

平成10年から、日本は北方四島の住民支援事業の一環として、人道上の配慮から、北海道の病院へ患者の受け入れをしています。平成28年末までに延べ232名の患者を受け入れました。

大切なことは・・・

◆ 国際社会とルール

国際社会では、各国家は、互いの主権を尊重し合わなければなりません。また、国際化が進む今日では、国家は相互に依存関係を強めています。

国家同士がよりよい関係を結ぶために、各国には、国際法を尊重し、協調の精神をもって行動することが、大切です。

◆ 国家と外交

国家同士が、互いの利益や国際社会の秩序を確保し合うために、外交が必要となります。

外交は、国際法などの国際社会のルールに基づいて行われなければなりません。

しかし、世界で起こっている紛争や戦争は、外交が行き止まった結果であることが多いことも事実です。

そうした事態を回避する努力が、全ての国に求められています。

北方領土に関する主なできごと②

昭和31（1956）年	日ソ共同宣言により、両国の国交回復。ソ連は、平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡すことに同意
昭和56（1981）年	日本政府が、閣議で、2月7日を「北方領土の日」とすることを決定
平成 3（1991）年	日ソ共同声明により、北方四島が、平和条約により解決されるべき領土問題の対象であることが確認
平成 5（1993）年	東京宣言により、領土問題を、北方四島の島名をあげて、その帰属に関する問題と位置付ける
平成 9（1997）年	東京宣言に基づき、2000年までに平和条約を締結するよう全力を尽くすことで一致（クラスノヤルスク合意）
平成10（1998）年	平和条約に関し、東京宣言に基づき、四島の帰属の問題を解決することを内容とするなどについて一致（川奈合意）
平成13（2001）年	東京宣言に基づき、四島の帰属の問題を解決して、平和条約を締結すべきことを再確認（イルクーツク声明）
平成15（2003）年	日露行動計画により、四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結するための交渉を加速することを確認



学習に役立つwebサイト

- ☆ 外務省 [欧州 北方領土問題]
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hoppo/index.html>
- ☆ 内閣府 [北方対策本部]
<http://www8.cao.go.jp/hoppo/index.html>
- ☆ 北海道 [北方領土対策本部]
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrt/index.htm>
- ☆ 根室市 [北方領土対策室]
<http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/dcitynd.nsf/doc/A1F12A7E4779F2AC492570C70034CFD8?OpenDocument>
- ☆ 独立行政法人 北方領土問題対策協会
<http://www.hoppou.go.jp/>

発行日：平成24年12月10日（初版発行）

平成29年12月 1日（改訂版発行）

発行：武蔵村山市教育委員会

〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1

電話 042-565-1111（内線 440）

※ 写真：1～4 内閣府 北方対策本部webサイトより

5 独立行政法人 北方領土問題対策協議会webサイトより

6 社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟webサイトより